

新・道の駅むらやま（仮称）建築設計業務 基本設計【概要版】

令和8年8月
村山市

- 01 整備概要
- 02 設計コンセプト
- 03 平面計画
- 04 建築計画
- 05 建築計画－24hエリア
- 06 建築計画－販売・飲食エリア
- 07 外構計画
- 08 完成予想図
- 09 事業スケジュール

01 整備概要

□ 計画地の位置

計画地は、山形県村山市の国道13号沿いに位置し、JR村山駅から約300m、村山ICから約1.5kmの距離にあります。市中心部の楯岡地区にも近く、まちなかと田園地域の境界に位置する、交通利便性の高い敷地です。

周辺には市道駅西中央線、市道駅西中央5号線、市道新町南線が接続しており、国道13号および東北中央自動車道との連携により、広域利用者と地域利用者の双方を受け入れやすい立地となっています。

敷地面積は約4.3haで、都市計画区域内に位置していますが、用途地域の指定はありません。建蔽率は70%、容積率は200%の地域です。現況地目は主に農地であり、開発にあたり現在敷地では地盤改良の工事が進んでおります。また、敷地内および周辺には揚水機場、用水施設、電波塔などがあり、計画上の調整が必要です。

周辺にはスーパー、飲食店、JR村山駅、甌葉プラザ、Link MURAYAMAなどが立地しており、既存の市街地機能や地域交流施設との連携が期待されます。また、本計画地周辺は「新規沿道流通業務ゾーン」として、市街地開発や沿道利用の可能性があるエリアに位置づけられています。

一方で、計画地は豪雪地帯にあり、年間降雪量は平均約270cm、令和2年には総降雪量407cmを記録しています。さらに、地震、洪水、強風、厚い粘性土層などの自然条件にも留意が必要です。特に洪水ハザード上は最大約4.4mの浸水が想定されており、施設計画においては、防災・避難機能を含めた検討が重要となります。

□ 計画地概要

所在地	山形県村山市大字楯岡字楯岡西地内
計画地面積	約43,000㎡
前面道路	市道駅西中央線（北側） 幅員22.0m 市道新町南線（南側） 幅員11.5m 中央5号線（西側） 幅員11.5m（一部14.5m） 国道13号（東側） 幅員23.5m
都市計画	都市計画区域内、白地地域（新規沿道流通業務ゾーン内）
用途地域	指定なし
防火地域	指定なし、ただし法22条区域
建蔽率	70%
容積率	200%
道路斜線制限	勾配1.5、適用距離20m
隣地斜線制限	勾配1.5、立上がり31m
北側斜線制限	制限なし
日影規制	制限なし

□仕様概要書

建物名	新・道の駅むらやま（仮称）
所在地	山形県村山市大字楯岡字楯岡西地内
主用途	店舗
敷地面積	43,271.07㎡
建蔽率	70%
容積率	200%
用途地域	用途制限なし
防火地域区分	指定なし、ただし法22条区域
その他地域地区	都市計画区域内、用途白地
構造形式	鉄骨造/ベタ基礎
規模	地上1階
最高高さ	GL+5.73m
軒の高さ	GL+5.58m
建築面積	4600.3㎡（建ぺい率10.6％）
延床面積	情報・休憩施設 632.1m2
	地域振興施設 1874.0m2
	軒下 1691.8m2
	合計 4197.8m2
耐火関係	耐火建築物
耐震関係	構造体：Ⅲ類／建築非構造部材：B類／建築設備：乙類
省エネ	ZEB-Ready 相当を目標とする
屋根	超速硬化スプレーウレタン防水+躯体コンクリート表し+吹付硬質ウレタンフォームt50
軒裏	躯体コンクリート表し
外壁	ウレタン断熱材吹付 t50+押出成形セメント板 t60
開口部	アルミ枠カーテンウォール、Low-E複層ガラス
外部床	コンクリート粗面仕上げ
外構舗装	コンクリート粗面仕上げ、半たわみ舗装、芝生、アスファルト
鉄骨柱	耐火塗装(1時間)[屋内仕様/屋外防水仕様]

02 設計コンセプト



美しい山並みに囲まれた村山市に、まるい屋根と中庭からなる道の駅を考えました。大きなまるい屋根に囲まれた中庭の周りには、村山市の魅力とにぎわいが広がり、人々があつまりつながる、公園のような道の駅ができあがります。

□どこからでも入ることができる、まるい道の駅

大きなまるい屋根の「新・道の駅むらやま」は、どこからでも人々を迎え入れます。国道13号からも、村山駅の方からも、あるいは、東北中央自動車道村山ICの方からも、どこからアプローチしても裏表がなく、人々をスムーズに迎え入れます。

□中庭広場を囲む屋内空間と人々を迎え入れる軒下空間

運営エリア、販売・飲食エリア、24hエリアの3つのエリアが中庭広場を囲むように配置されます。まるい屋根がつくる大きな軒下空間は、施設全体を緩やかにつなぎ、雨の日でも雪の日でも天候に左右されことなく自由に回遊できる環境を生み出します。中庭広場を中心に、にぎわいが建築全体へと広がる公園のような道の駅を目指しています。



①駐車場より



②半屋外イベントスペースより



③村山駅方面より



④村山IC方面より

□どこからでもにぎわいが感じられる奥行きのある浅い空間構成

駐車場から、軒下空間、屋内空間、広場へと連続する、全体がフラットな安全でバリアフリーの計画とします。奥行きのある浅い建築とすることで、視線や人の流れ、活動が屋内外を横断して広がります。この連続したにぎわいは、甑岳・葉山の山並みや田園風景へと開かれ、村山市らしい風景と一体となった交流拠点を形成します。



□中庭広場と展望デッキ

にぎわいの中心となる中庭広場は、イベントや日常利用を通じてさまざまな交流を生み出します。周囲を建物に囲まれた安心感のある空間で、人々が自然に集い、滞在できる場所です。屋根の上には展望デッキを設けており、甑岳・葉山の美しい山並みに囲まれ、村山市の風景を楽しむことができます。中庭広場のにぎわいが道の駅全体に立体的に広がり、新しい人々の交流と風景を生み出します。

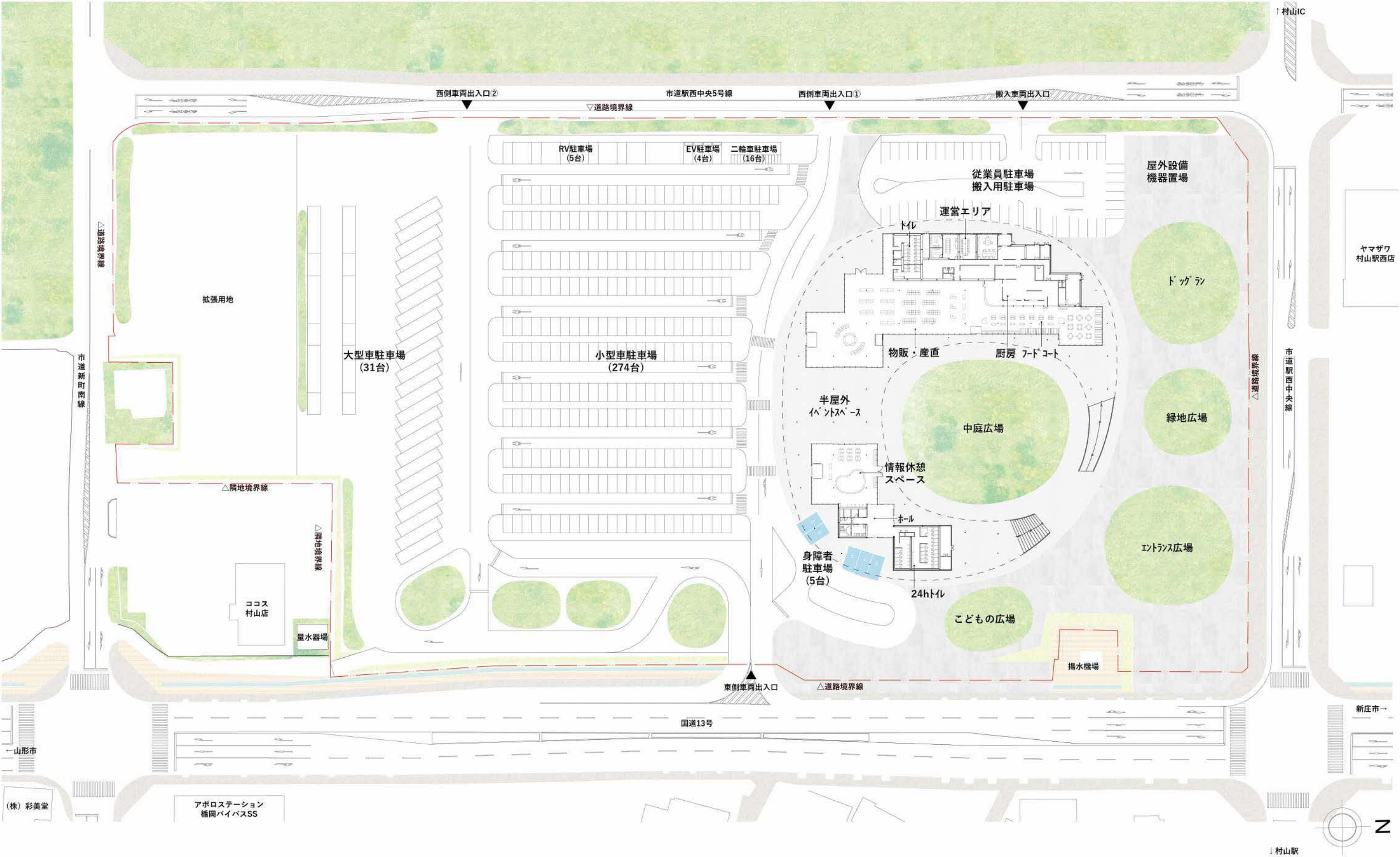


中庭広場の様子



展望デッキより甑岳を見る様子

03 平面計画



04 建築計画

□ 公園のような道の駅の空間構成

- ・「みんながあつまり、つながる公園のような道の駅」をコンセプトとして計画しています。
- ・道路利用者、市民、観光客が自由にあつまり、つながる空間を形成します。
- ・建築と外部空間を一体的に計画し、村山市の「新たな交通・観光・交流の拠点」を目指します。

□ 大きな丸い屋根と広場

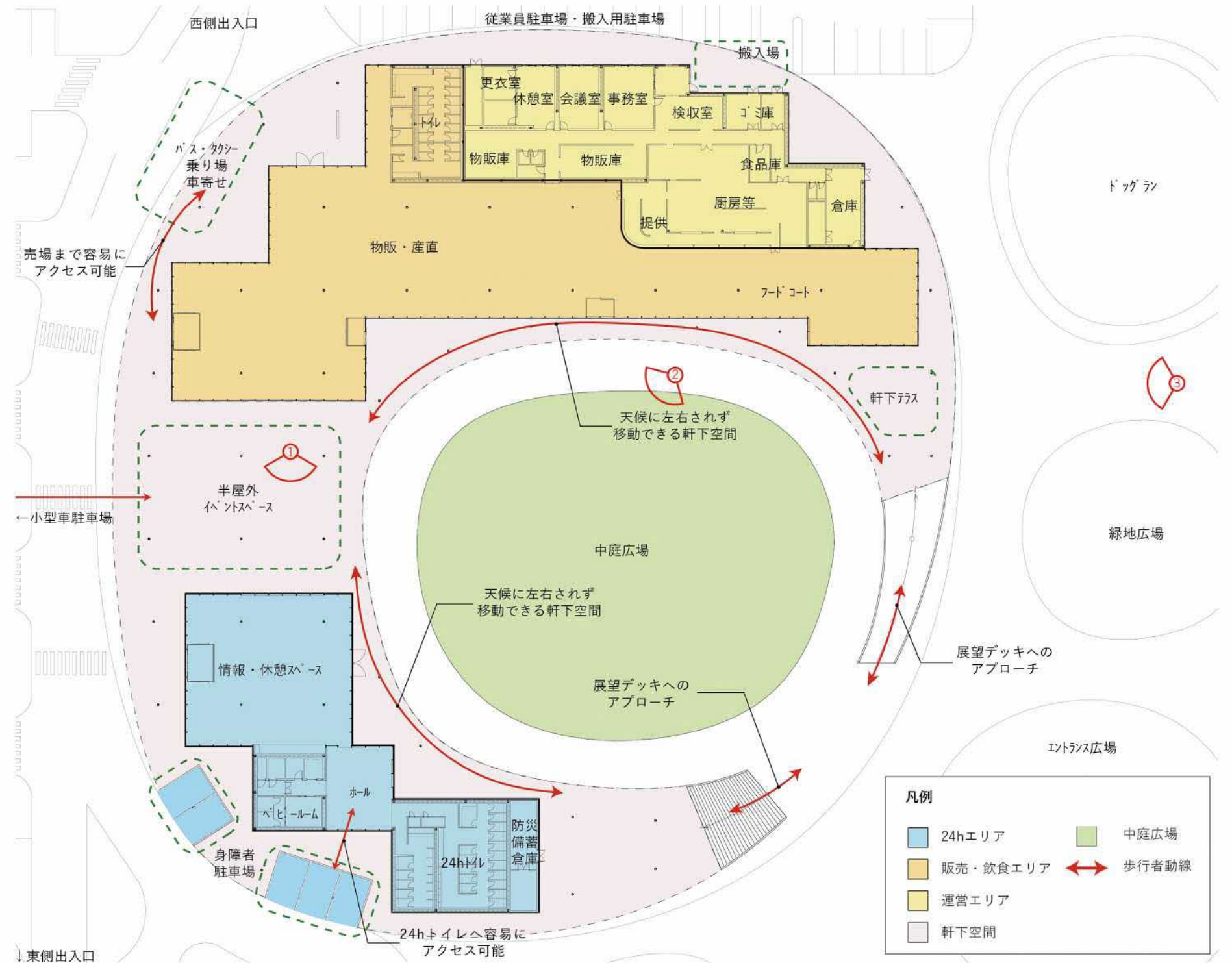
- ・建物全体を包み込む大きな丸い屋根により、施設全体に一体感を与えます。
- ・屋根の下に「24hエリア」「販売・飲食エリア」「運営エリア」を配置し、多様な活動を受け入れる空間を形成します。
- ・屋根の下に「軒下空間」を設け、さまざまな活動が催される半屋外空間が屋内空間や広場と連続します。
- ・建物中央には「中庭広場」を設け、飲食、休憩、イベント、交流などが生まれる中心的な広場とします。

□ 開放的な建築計画

- ・建物はさまざまな方向からアプローチできる平面計画とし、どこから訪れても屋内外に連続するさまざまなにぎわいを感じることができます。
- ・屋内外を緩やかにつなぎ、公園のように気軽に立ち寄れる開放的な利用環境を形成します。
- ・見通しのよい開放的な立面計画とし、利用者が安心して過ごせる空間を目指します。

□ 回遊性のある動線

- ・中庭広場を中心に施設全体を回遊できる動線計画とします。
- ・大きな丸い屋根による軒下空間は、天候に左右されず、施設全体を快適で安全に移動できる半屋外空間となります。
- ・販売・飲食エリアと24hエリアを丸い屋根形状に沿った雁行形状の平面とすることで、空間の奥行きと自然な人の流れが生まれます。



①半屋外イベントスペース



②中庭広場



③軒下テラス



05 建築計画－24hエリア

□ 24時間利用可能な情報発信と休憩の場

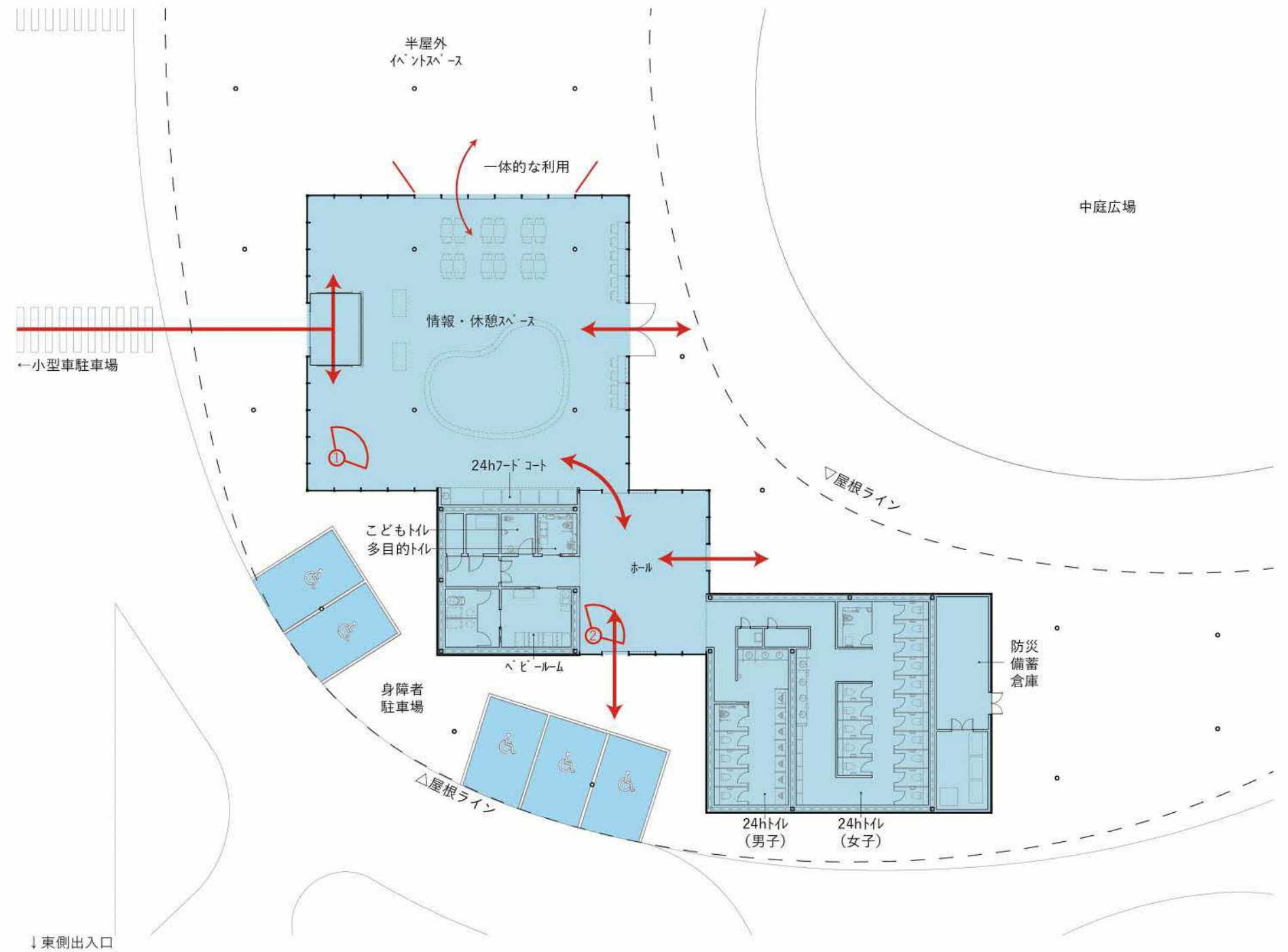
- ・長距離ドライバーや地域住民、旅行者が24時間利用できるエリアとして、駐車場や国道13号から視認性の高い東側に施設を計画します。
- ・道路・休憩コーナー、ベビールーム、24hトイレに加え、セルフサービスで利用可能な24hフードコート、防災備蓄倉庫を配置し、道の駅に新しい機能と利便性を実装します。
- ・観光情報の発信や防災備蓄機能を備え、道路利用者だけでなく地域利用にも対応するエリアとします。

□ 多様な利用者に配慮した機能配置

- ・情報・休憩スペースには大型のモニターや親子休憩のできる特徴的な家具を設置することで、休憩だけではなく、情報発信やイベントが積極的に行える空間とします。また、半屋外イベントスペースに面する外壁は大きく開閉できる設えとし、大きなイベントの際には一体的な利用が可能となります。
- ・24hの中央に位置するホールは国道13号から中庭へと抜ける視線を確保しながら、各機能をつなぎ合わせます。
- ・ベビールーム、こどもトイレ、多目的トイレは、ホールを挟んで24hトイレとは分離しまとめて設けることで、子ども連れの利用者、高齢者、身障者など、多様な利用者に配慮した機能配置とします。

□ 分かりやすく安全な動線計画

- ・24hエリアは、どの方向からもアプローチできるよう、複数の入り口を設け、どこから入っても見通しの良い、わかりやすい空間とします。
- ・24hトイレの入り口や廊下はゆとりのある寸法とし、安全な動線計画を確保します。
- ・販売・飲食スペースからも、軒下空間を介してアプローチできる平面計画とし、雨天時や降雪時にも快適に利用ができます。



①情報・休憩スペース



②ホール



③24hトイレ



06 建築計画－販売・飲食エリア

□ 地域の魅力を発信する販売・飲食エリア

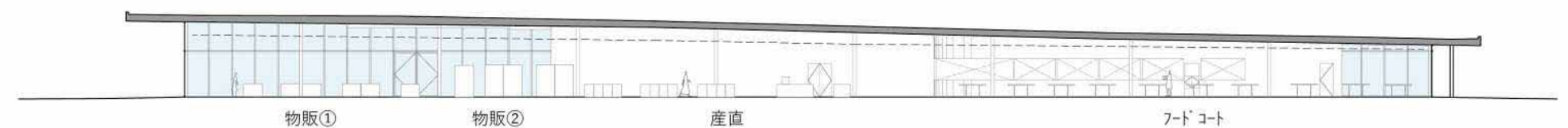
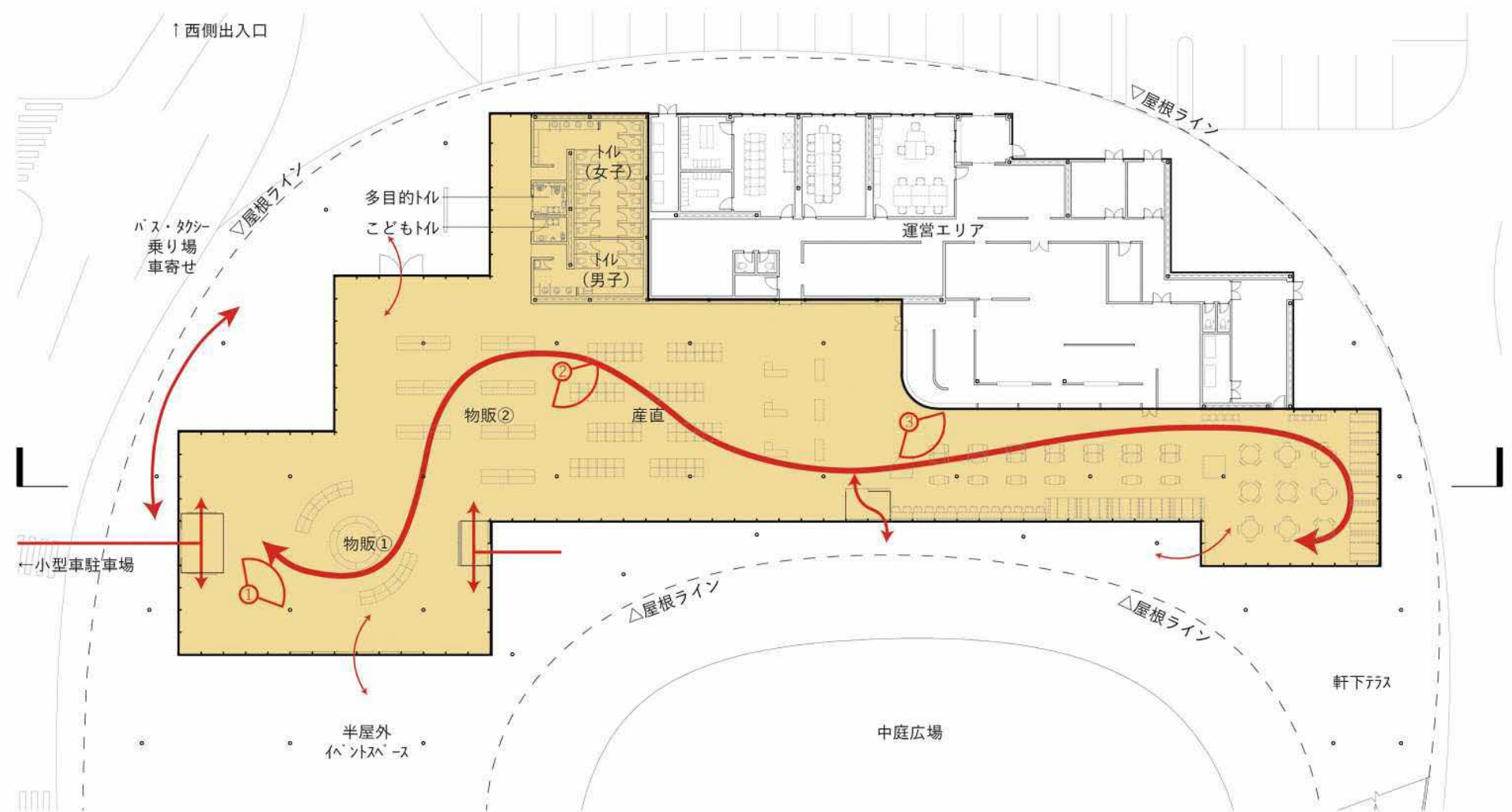
- ・物販、産直、フードコートの3つのエリアが、雁行した平面形状により、緩やかに分節されながらも連続するワンルーム空間とすることで、来訪者が村山市の魅力に次々と出会えるような、発見のある空間を計画します。
- ・駐車場や中庭広場に面する外壁をガラスカーテンウォールとすることで、室内でのにぎわいがどこからでも感じることができる、明るく見通しの良い空間とします。
- ・今後、この空間を最大限に活かす特徴的な家具什器や内装の設計を運営事業者とともに計画し、新しい道の駅のイメージを作りあげます。
- ・十分な器数を設けたトイレを計画します。1箇所にとめることで、わかりやすく、使いやすいトイレ計画とします。

□ 屋内外がつながる開放的な空間構成

- ・中庭を囲うように広がる平面計画とすることで、屋内外での一体的な利用を促します。
- ・半屋外イベントスペースに面する外壁は大きく開閉できる設えとし、大きなイベントの際には、24hエリアの情報・休憩スペースも含めた一体的な利用が可能となります。

□ 自然に回遊できる動線計画

- ・駐車場側、中庭広場側など、多方向からアプローチできる複数の出入口を計画します。
- ・雁行した空間配置により、物販、産直、フードコート naturally 回遊できる動線を確保します。
- ・軒下空間を全体に設けることで、来訪者が施設全体を、快適に内外を行き来しながら、買い物や飲食、休憩を楽しめる動線計画とします。



①物販



②産直



③フードコート



07 外構計画

□ 外部空間の基本方針

- ・施設と一体的な利用が可能な外構空間を計画します。
- ・中庭広場、軒下空間、外部広場を連続的に配置し、建物内外が緩やかにつながる空間構成とします。
- ・敷地全体をフラットでバリアフリーな計画とします。敷地周辺の地盤高さに沿ってゆるやかな勾配が設けられた外部空間は、子どもから高齢者まで誰もが利用しやすい空間とします。
- ・車両の進入や子どもの飛び出し等に配慮し、駐車場との間にポラード、敷地北側の道路との間に飛び出し防止柵を設け、安全性を確保します。
- ・敷地外周、駐車場との境界、中庭広場境界、屋根設置部に排水側溝を設け、適切な雨水の排水処理を行います。

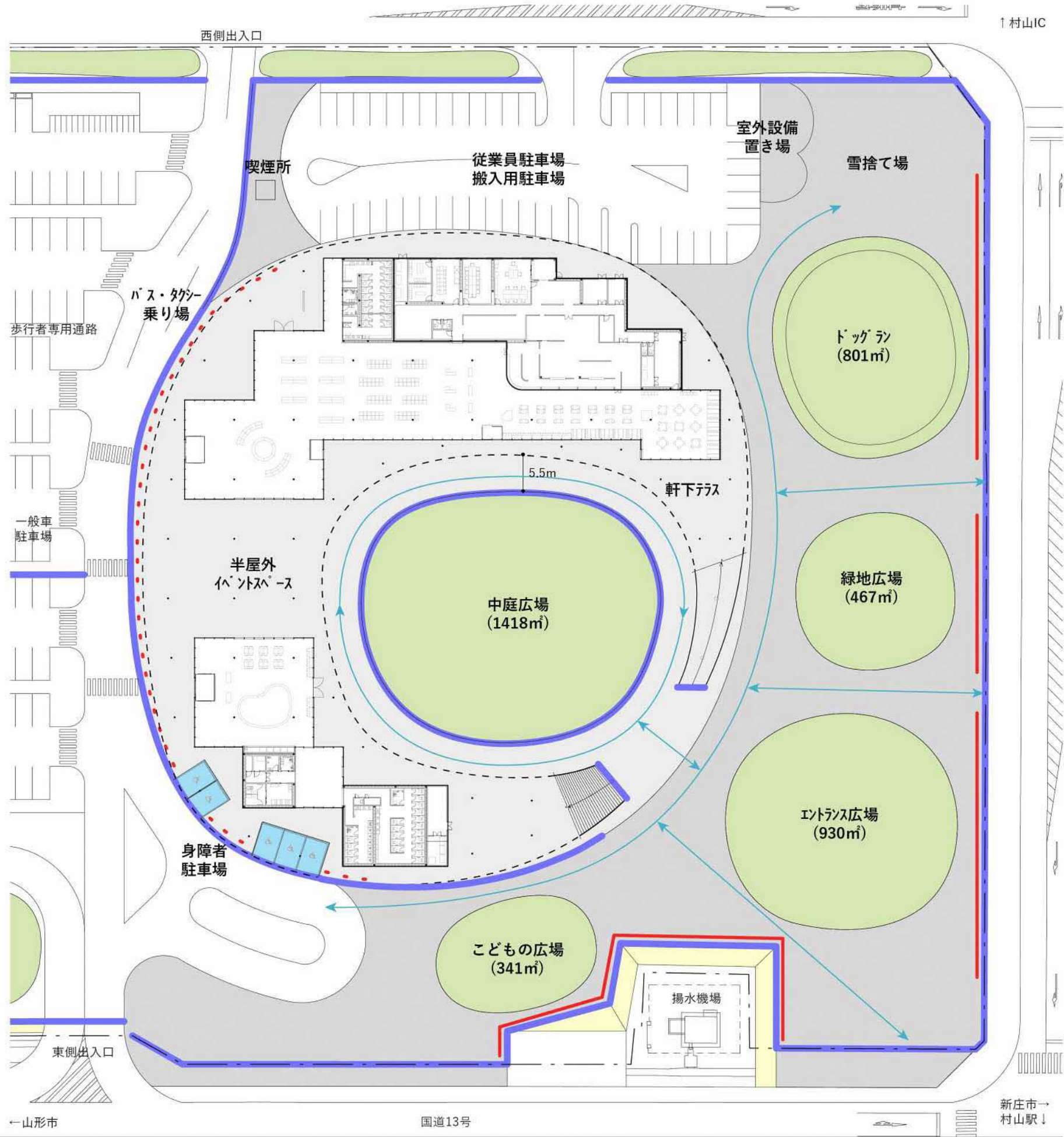
□ 多様な活動を受け入れる広場計画

- ・まるい屋根の真ん中に位置する中庭広場と、同じようなまるい芝生の広場を施設北側に複数配置することで、敷地全体に連続した外部空間とします。
- ・ドッグラン、こどもの広場、緑地広場、エントランス広場といった異なる特徴を持った広場とすることで、施設のまわりにさまざまなにぎわいがひろがります。
- ・周辺の田園景観や山並みと調和した、外構計画とします。

□ 除雪に配慮した舗装計画

- ・敷地全体をフラットに計画し、また凍結や破損に配慮した舗装仕様を選定することで、除雪作業が容易にできる舗装計画とします。
- ・主な歩行者・車両動線は、除雪機の通行・作業を想定し、5.5m程度の有効幅員を確保するとともに、耐久性のある舗装仕様とします。
- ・施設利用者の動線から離れた、敷地北西に除雪後の雪捨て場を設けます。
- ・外構の舗装は雨天でも滑らずに快適に歩行できる半たわみ舗装とします。軒下空間については、外構舗装と屋内の舗装の連続性を考慮し、コンクリート舗装とします。

凡例			
	コンクリート舗装		排水側溝
	半たわみ舗装		手すり・柵
	アスファルト舗装		ポラード
	芝・植帯		除雪動線



08 完成予想図

鳥瞰図①_北側上空より



外観図①_エントランス広場より



鳥瞰図②_南側上空より



外観図②_駐車場より



08 完成予想図

外観図③_中庭広場より



外観図⑤_屋上デッキより



外観図④_半屋外イベントスペースより



外観図⑥_屋上デッキより



08 完成予想図

内観図①_情報エリア



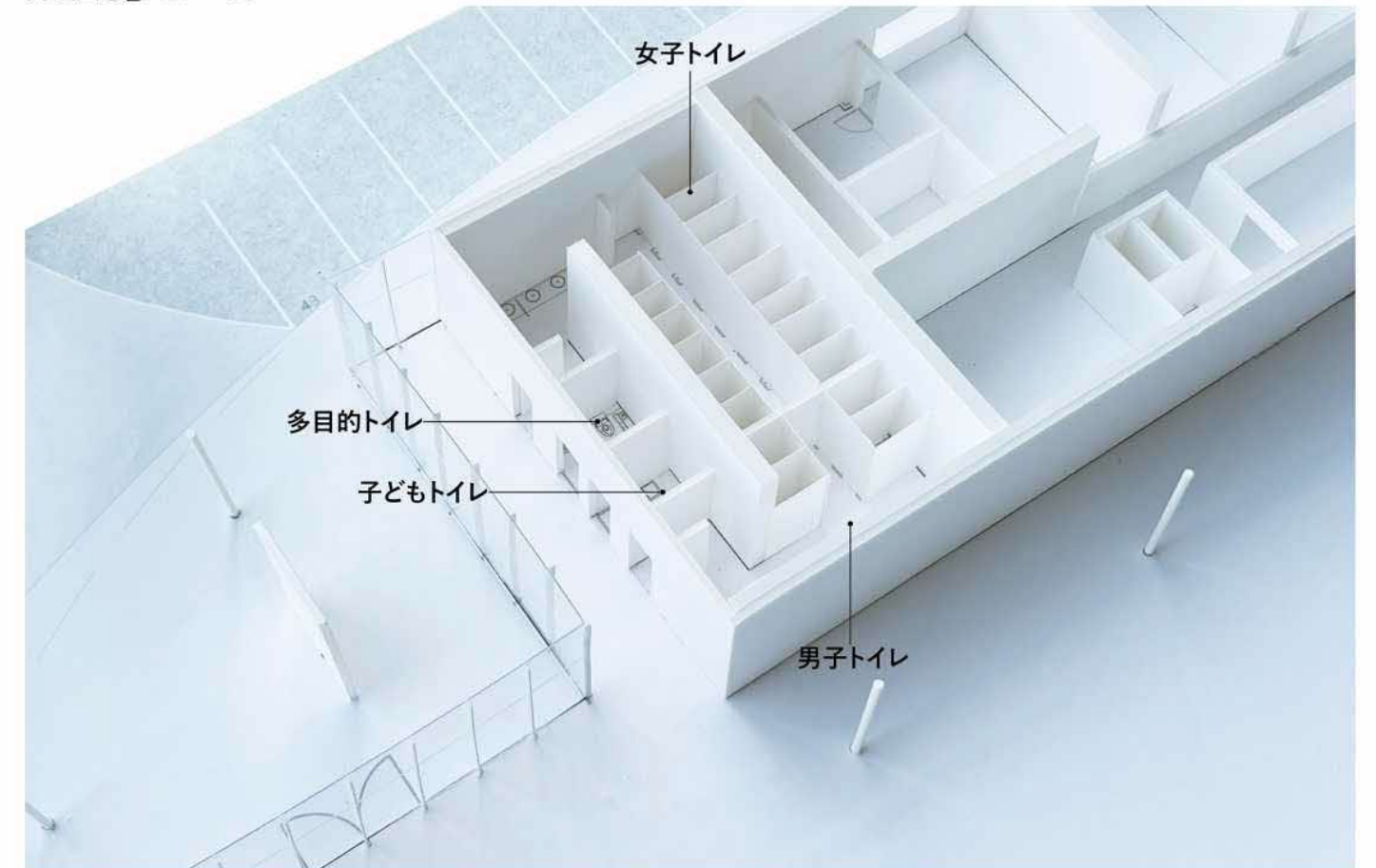
内観図②_情報エリア



内観図③_トイレエリア



内観図④_トイレエリア



08 完成予想図

内観図⑤_物販エリア



内観図⑦_飲食エリア



内観図⑥_産直エリア



内観図⑧_運営エリア



09 事業スケジュール

事業スケジュールは概ね以下の通りとなります。令和11年度初頭の開業に向けて、設計・工事を進めてまいります。

